



## ツツジと春の陽光につつまれて

### 不老山花と光のフェスタ

第20回「不老山花と光のフェスタ」(まつり実行委員会主催)が、4月16日から5月8日まで不老山総合公園で開催されました。

イベントデーの16日にはグラウンド・ゴルフ大会、17日は音楽やダンスなどのステージイベント、キッズサッカーフェスタ、綱引き大会、スケッチ・ぬり絵コンテストなどが行われました。今回初登場した水上の遊具施設「ハムスターボール」は子どもたちに大人気で、順番待ちの列が出来ていました。

会場を訪れた人たちは、不老山公園の11万本のツツジをバックに本格的な春の訪れを楽しみました。

グラウンド・ゴルフ大会の上位の結果は次の通りです。

#### 【男性の部】

- ①瀬川保之(里クラブ) ②石田美夫(吉井GGC)  
③羽田利明(寺ノ尾中愛好会) ④小川幸助(江迎)  
⑤萬屋巖美(BSクラブ)

#### 【女性の部】

- ①富本丸子(里クラブ) ②池田征子(今福クラブ)  
③中須賀シヅ子(里・福寿会) ④山本美知枝(グリーンクラブ)  
⑤坂本登喜代(田平グリーンズ)



うらっこ

## みんな集まれ! 「URACCO」誕生!!

### みんなの子育て広場「URACCO」

子育て支援施設「URACCO」が4月23日、志佐町の生涯学習センター横(旧児童館跡地)にオープンしました。

うす緑色のコンテナハウスには、おもちゃを備えた遊びのコーナーや親子で絵本を読むスペースも設置。晴れた日には、ウッドデッキに出て遊ぶことができます。また子育て支援員が常駐しているため、子育てに関する情報交換や相談ができ、子育て中の親を中心に、お年寄りから赤ちゃんまで、多くの市民が気軽に集える施設として活用されることが期待されます。

「URACCO」の開館時間は、月曜から土曜の午前10時から午後5時までです。(日曜・祝日は休館)



## 市民と行政の橋渡し役として

### 市政嘱託員および農業嘱託員委嘱状交付式

平成28年度松浦市市政嘱託員および農業嘱託員委嘱状交付式が4月22日、文化会館で開催されました。

式では、友広市長が市政嘱託員147人と農業嘱託員91人の各代表に委嘱状を交付。嘱託員を代表して川畑喜久雄さん(御厨・平瀬、75)が「私たち市政嘱託員は、今後の松浦市がより良き未来へ導かれるよう協力しながら、市民と行政の橋渡し役として努力します」とあいさつしました。

また、梅川雄二さん(今福・福德)が市政功労表彰を受けました。



## 美しい音色を奏でるために

松浦音楽連盟楽器講習会

松浦音楽連盟（浦順平理事長）が主催する第6回楽器講習会が5月8日、文化会館で開催されました。

この講習会は、県内外の管打楽器奏者が講師となり、次代を担う中高生を対象に、吹奏楽の普及・発展を目的として実施されています。演奏技術や練習方法、楽器のメンテナンスの仕方など、直接指導を受けることができる講習会には、市内および周辺地域の学校から約40人が参加しました。

また講習会後は、松浦ウインドオーケストラによるミニコンサートも行われ、参加者は美しい音色に聞き入りました。



## 母の日の楽しいひととき

婦人ページェント

第11回松浦市婦人ページェントが母の日の5月8日、つきの島公園で開催されました。このイベントは、松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が、日ごろの家事に追われる主婦たちが日常の忙しさを忘れ、会員同士がお互いに交流を深めることを目的に開催しています。

晴天に恵まれたこの日は、グラウンドゴルフ、がんばらんば体操、輪投げ、福つりなどを行い、参加者は楽しい春のひとときを過ごしました。



## 力を合わせて和船を漕ぐ！

鷹島和船競漕「せいぐろ」

鷹島町阿翁浦地区の伝統行事で「せいぐろ」と呼ばれる和船競漕大会（和船競漕保存会主催、吉澤謙三会長）が5月5日、阿翁浦漁港で開催されました。

この行事は、地域の活性化や豊漁、子どもの健やかな成長を願って毎年「こどもの日」に開催され、和船に約10人が乗り込み、往復約300mのコースでタイムを競います。

今年は中学生6チームも含め阿翁浦地区のほか、市内から合計21チームが出場し、大いににぎわいました。

- ①漁協青年部 A（3分28秒）
- ②阿翁浦地区 5、6組（3分33秒）
- ③阿翁浦地区 9、10組（3分46秒）



## 初夏の訪れを味わう！旬の特産

キンショーマロンまつり

松浦市の特産品キンショーマロンを直売する恒例の「キンショーマロンまつり」が5月7日・8日の両日、道の駅松浦海のふるさと館で開催されました。

大型連休中の週末、天候にも恵まれ、初夏のさわやかなメロンの甘さを求めて早朝から多くの買い物客が足を運びました。今年のキンショーマロンは色、糖度ともに例年以上の出来栄え。贈答用としてもたいへん喜ばれ、準備された2,000ケースのメロンが次々に売れていきました。

